

給水装置工事 施工・配管例 給水装置工事明細書 作図資料

こちらの資料は前橋市給水装置設計施工指針に基づく給水装置工事の配管例、施工例、申請時の給水装置工事明細書の図面作成例、水理計算例が記載されています。

※この資料に基づいて申請をした場合でも現場条件により承認が許可されない場合もあります。

目次

[illegible]

標準配管図

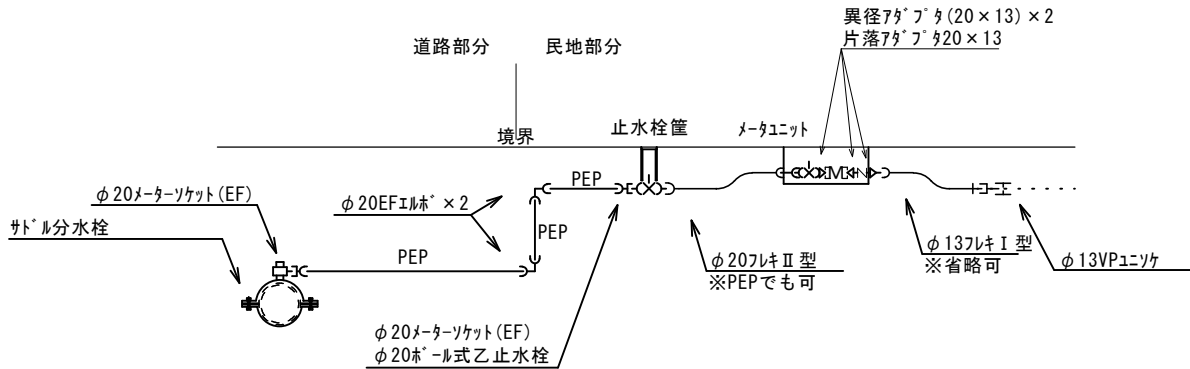
標準配管例

※量水器二次側は配管状況に応じ適切な範囲を施工する。

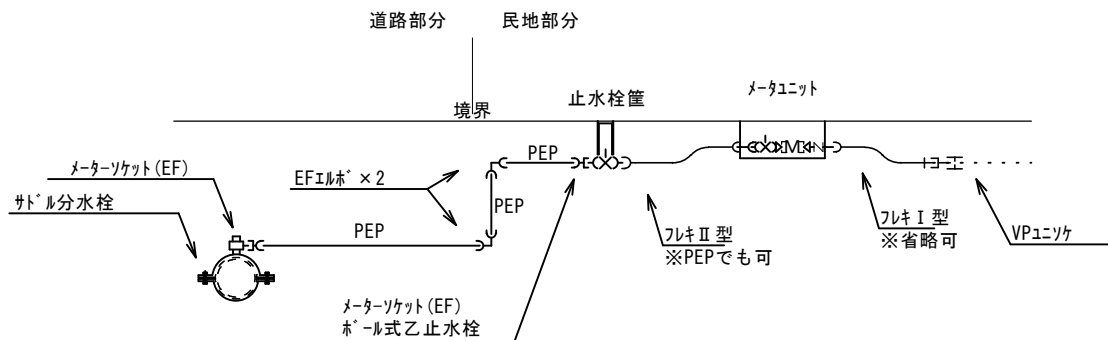
設計施工指針 第9章 給水装置工事の施工

9-6 標準配管例

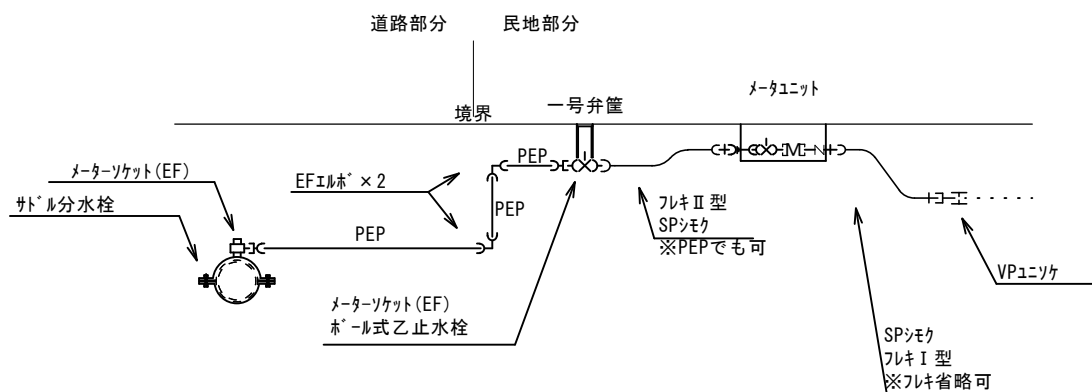
【φ13】メータユニット



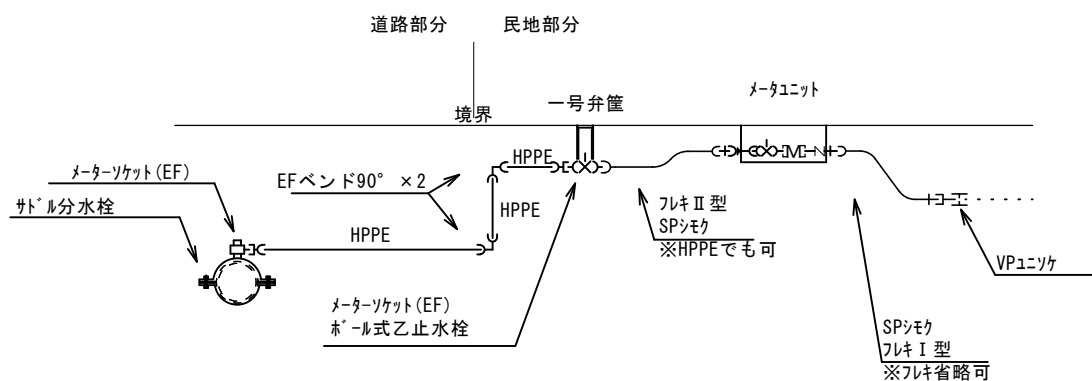
【φ20～25】メータユニット



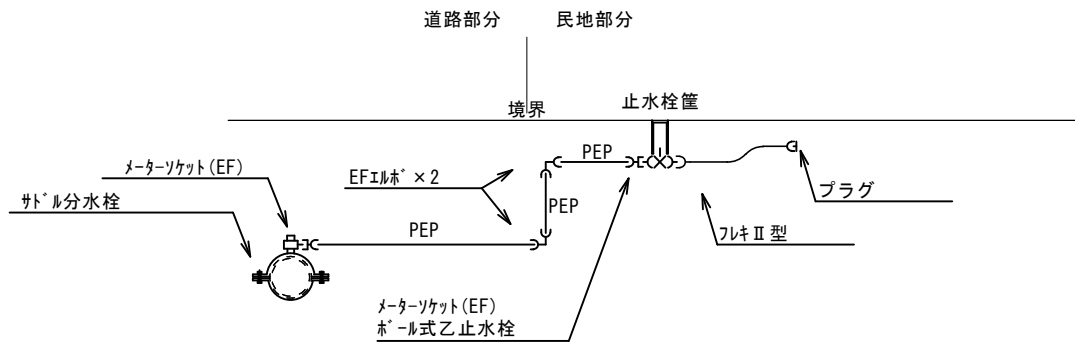
【φ30～40】メータユニット



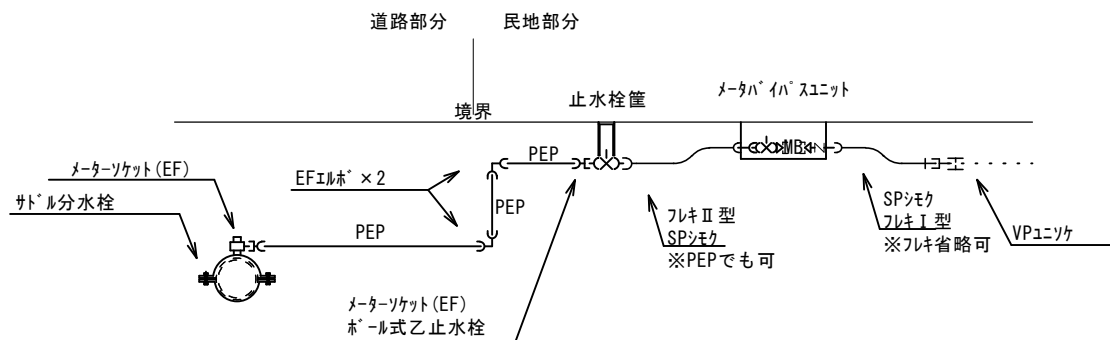
【φ50】メータユニット



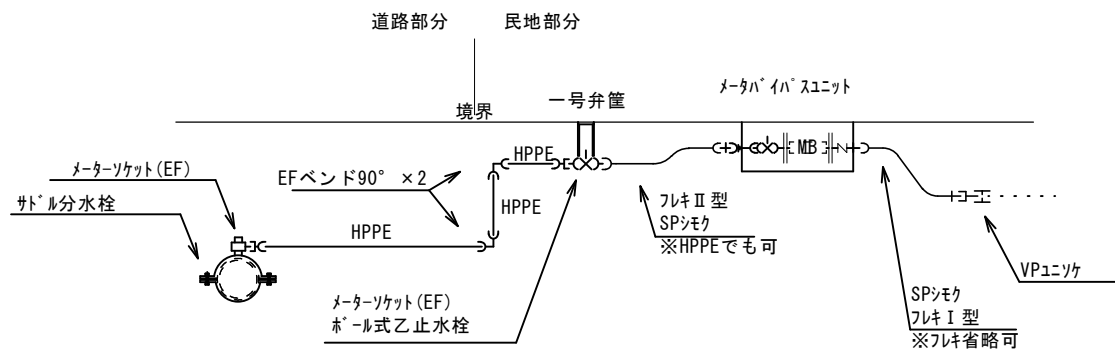
【φ13～50】 先行取出し



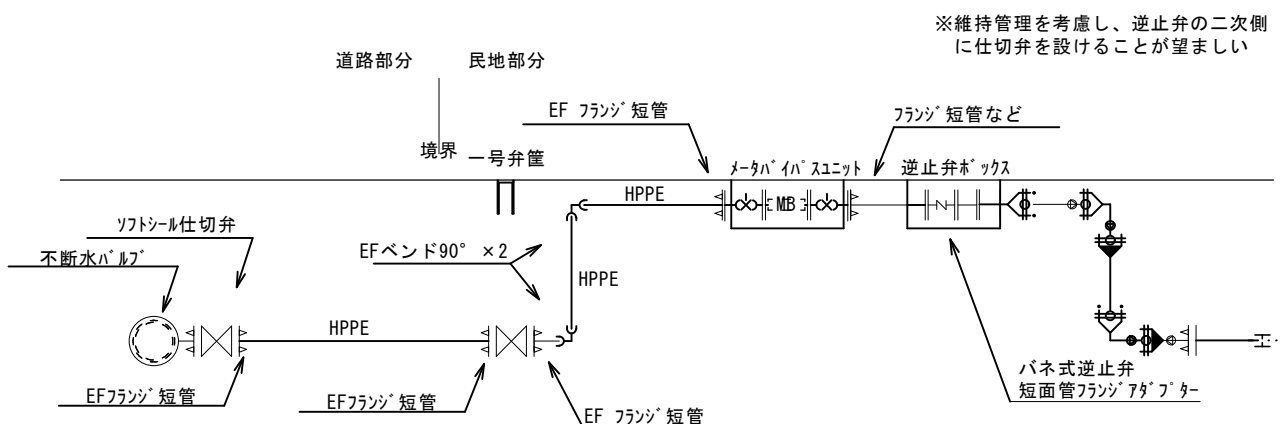
【φ25～40】 メータバイパスユニット



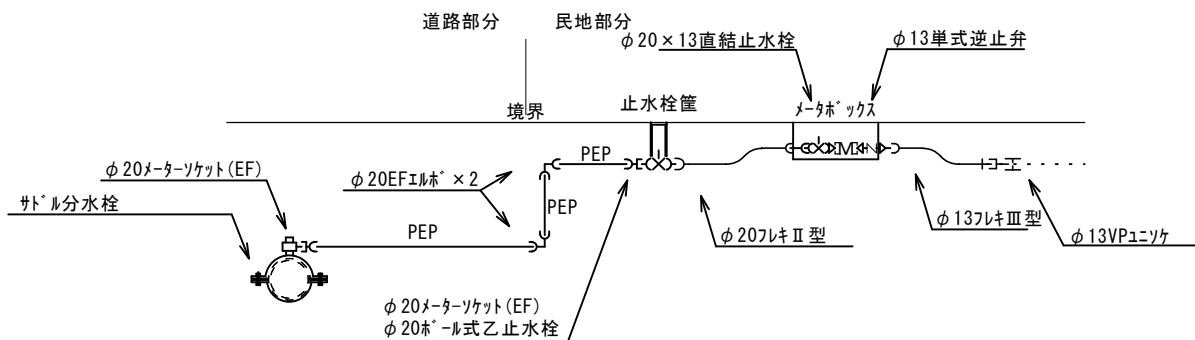
【φ50】 メータバイパスユニット



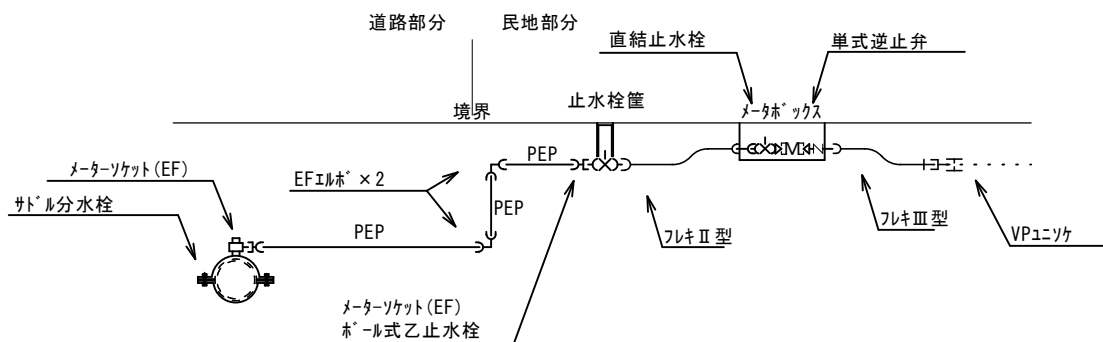
【φ75】 メータバイパスユニット



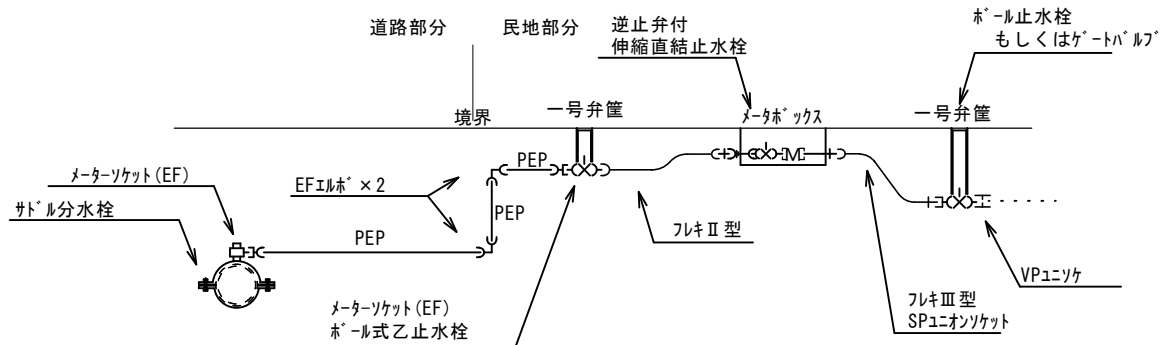
【φ13】メータボックス



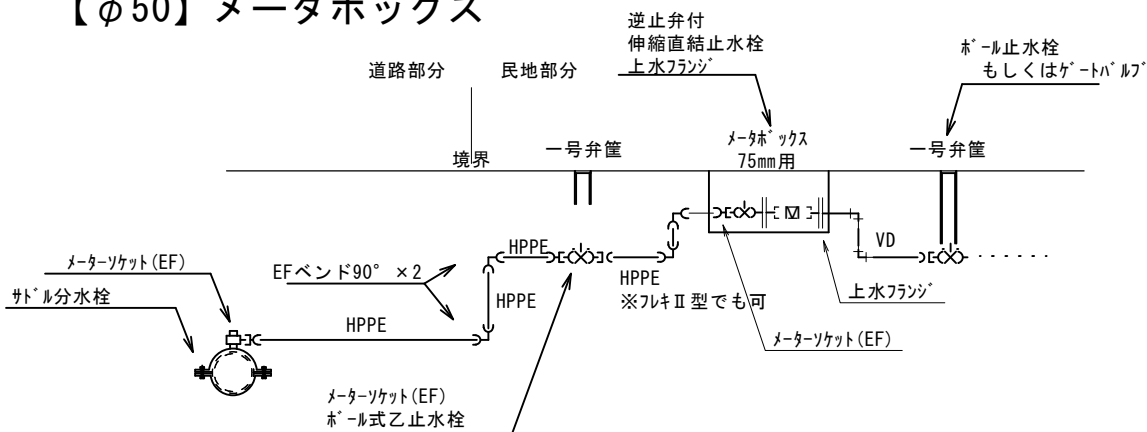
【φ20～25】メータボックス



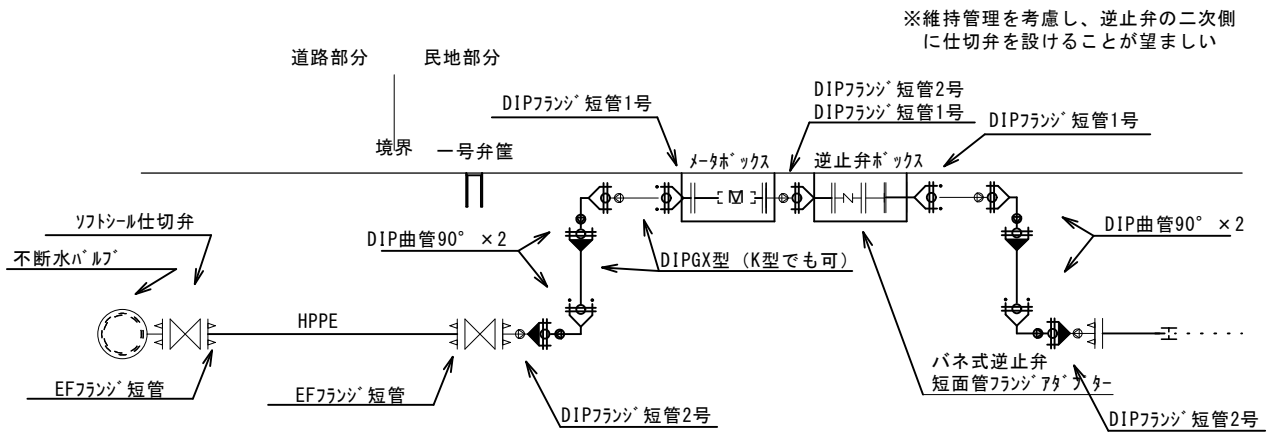
【φ30～40】メータボックス



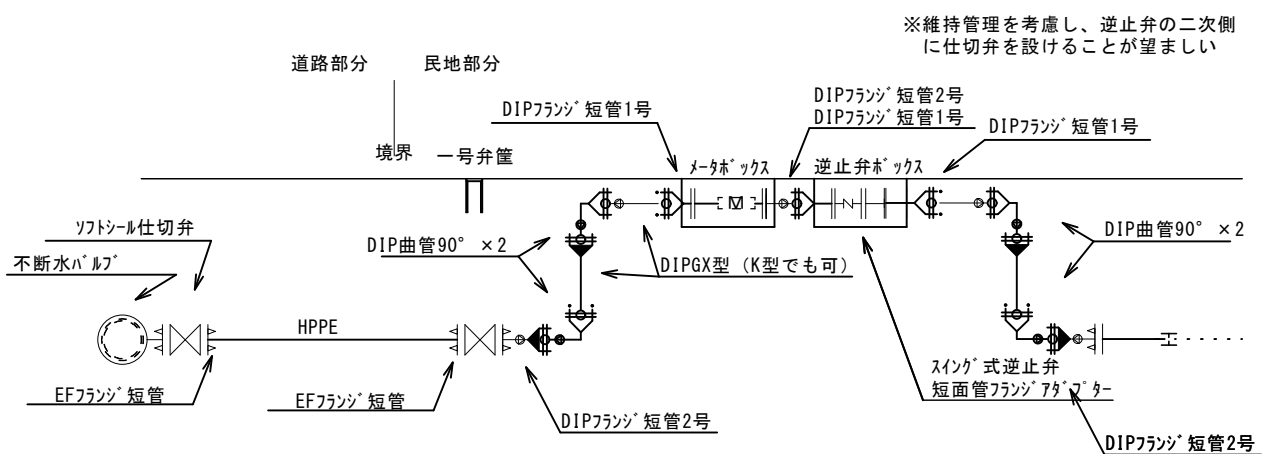
【φ50】メータボックス



【φ75】メータボックス



【φ100～150】メータボックス



※75mm以上はコンクリート現場打ち、鋳鉄製等で上部に鉄蓋（設置位置によって、プラスチック製とする場合を除く）を設置した構造とする。

※メータボックス使用時、50mm以上の場合は、メータとの接合をフランジとする。

給水管工事申込書
給水管工事明細書
様式

決 裁 承 認	課長	係長	審査	受付		水栓番号
						123456

給水装置工事申込書

(宛先) 前橋市公営企業管理者 令和〇年 〇月 〇〇日

(申込者) 住所 前橋市〇〇町〇〇

フリガナ マエハシ タロウ

氏名 前橋 太郎

電話 〇〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

私は、次の指定給水装置工事事業者に、給水装置工事の申込手続及び施工に関する一切を委任し、工事を申込みます。なお、給水装置工事の施工にあたっては、給水条例をはじめとする関係法令等の遵守を徹底します。

また、給水装置工事の申込にあたって、以下の選択事項について誓約・同意いたします。当該給水装置の権利移転をした際は、継承者に本書の事項を遵守させます。

工事場所	〇〇町 1 1 1 - 1					
工事種別	☒ 新設 (20 mm)	☐ 改造 (口径変更 mm→ mm)	☐ その他 ()	☐ 撤去		
指定給水装置工事事業者指定番号 (〇〇〇)	住 所	〇市〇町〇〇				
	事業者名	〇〇水道工事店 (株)				
	代 表 者	水道 花子	電話 (代表番号)	027 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇		
			F A X 番号	027 - △△△ - △△△△		
	主任技術者	水道 太郎	電話 (担当者)	080 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇	その他メール等 suidou@xxxxx.xxx	
選択事項 ※該当項目の □にチェック 記入	☒	(新設・改造の場合) 分岐から量水器までの管種・口径等の配管情報について公開することに同意します。				
	☒	(新設・改造の場合) 今後、内線改造等を行う際は、必ず指定給水装置工事事業者に依頼することを誓約します。				
	☒	(受水槽を設置しない場合) 貯水機能を有していないため、計画的及び緊急の断水時等のやむを得ない場合には、水の使用ができなくなることを承諾し、異議申し立てを行わないことを誓約します。				
	☒	(権利関係の同意事項等) 本申込に係る権利関係の事項については、全ての権利関係者より同意等を取得済みです。また、権利関係に関して、当事者間で紛争が生じた場合は、申込者の責任において解決します。				

権利関係者取得済同意事項

給水装置所有者 ☐ 別添一覧あり	同意日	年 月 日	土地所有者 ☐ 別添一覧あり その他 利害関係人 () ☐ 別添一覧あり	同意日	年 月 日
	住 所			住 所	
家屋所有者 ☐ 別添一覧あり	同意日	年 月 日		同意日	年 月 日
	住 所			住 所	
	氏 名			氏 名	

施工予定日	年 月 日	量水器	mm	個	給水装置工事手数料(非課税)	水道加入金(税込)	領 収			
添付書類	☐ その他 ()	開栓日	年 月 日		円					
☐ 同意	☐ 誓約	☐ 受水槽	検査日	年 月 日		円				
☐ 増圧	☐ 三階	☐ 計算	新設量水器 No. 検満 指針	検査承認	課長	係長	監督	審査	受付	
☐ 特殊用具	☐ 寄附	☐ 仮換地区								
☐ 舗装復旧	☐	☐								

備考欄

一般住宅 給水装置工事明細書作図
参考

給水装置工事明細書

☒

審查

9

検査

着工日

年 月 日

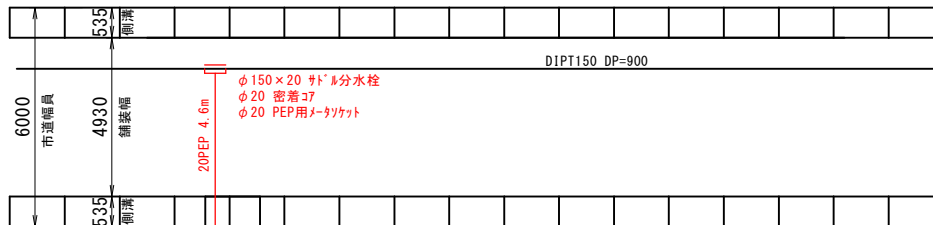
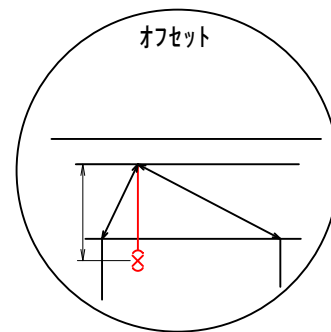
竣工日

年 月 日

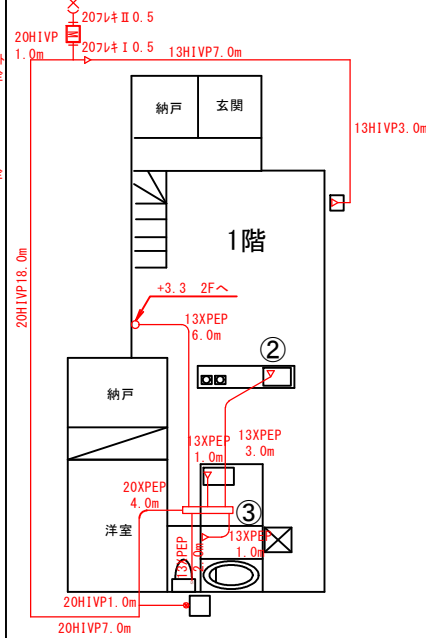
水栓番号

123456

案内図



- φ20PEP L=4.0m
- φ20PEPエルボ×2
- φ20PEP用メータソケット
- φ20ボール式止水栓
- 止水栓筐(小)
- φ20フレキII型
- φ20メータユニット
- φ20フレキI型
- φ20VPユニツケ
- φ20×13 立水栓



※水理計算（損失計算）を添付すること
または、給水装置工事明細書（審査）に
記入すること

水理計算

管路延長

末端水栓①（一番水压が必要なところ）
～サトル分水栓まで

$$L=5.0+3.3+6.0+4.0+1.0+7.0+18.0+1.0+0.5+0.5+4.6=50.9\text{m}$$

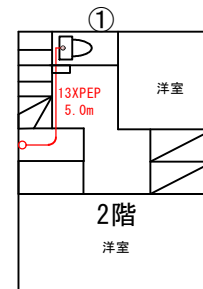
13mm延長同時使用1栓

①～ハッダ^ダ-まで

$$L = 5.0 + 3.3 + 6.0 = 14.3 \text{ m}$$

20mm3栓同時使用

ヘッド～サドル分水栓まで

$$L = 4.0 + 1.0 + 7.0 + 18.0 + 1.0 + 0.5 + 0.5 + 4.6 = 36.6 \text{ m}$$


使用材料（一次側）【配水管施設深：m、PEPメーカー：セキスイ】						使用材料（二次側）					
名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位
φ150×20 サドル分水栓		1	個			φ20メータユニット	1	個	φ13混合水栓	2	個
φ20 密着コブ		1	個			φ20フレキⅠ型	1	個	φ13シャワー水栓	1	個
φ20 PEP用メータソケット		2	個			φ20VPユニソク	1	個	φ13ホム水栓	1	個
φ20PEPエルボ		2	個			φ20VPエルボ	3	個	φ13アングル止水栓	1	個
φ20フレキⅡ型		1	個			φ13VPエルボ	1	個	φ13水栓柱	1	個
φ20ホム式止水栓		1	個			φ20×20VPチース	1	個	φ13ホムタッパ	2	個
止水栓筐(小)		1	個			φ20ヘッダー	1	個	φ20VPユニソク	1	個
				公道PEP布設 φ20	4.1 m	φ20HIVP	26.5 m		φ20VPユニソク	1	個
				宅内PEP布設 φ20	0.5 m	φ13HIVP	10.0 m			1	個
				舗装復旧工(仮)	2.8 m2	φ20XPEP	4.0 m				
				舗装復旧工(本)	5.9 m2	φ13XPEP	21.3 m				
配水管水圧	Mpa			残留塩素	mg/l (ppm)						

A 様邸			工事事業者:〇〇 〇〇	
建物階数	2	階建て		
現地最小動水圧	0.4	Mpa		
総水栓数	6	栓		
同時使用水栓数	3	栓を想定		
※量水器	20	mm以上が適当		
量水器	20	mm		
末端水栓の種類	洗浄便座			
ヘッダーの有無	有			
管路延長 (分岐から末端水栓までの経路上)	50.9	m	損失水頭	流速(m/s)
13 mmの延長	14.3	m		
うち1栓同時使用	14.3	m	3.264	1.507
2栓同時使用		m		
3栓同時使用		m		
16 mmの延長		m		
うち1栓同時使用		m		
2栓同時使用		m		
3栓同時使用		m		
20 mmの延長	36.6	m		
うち1栓同時使用		m		
2栓同時使用		m		
3栓同時使用	36.6	m	8.041	1.910
25 mmの延長		m		
うち1栓同時使用		m		
2栓同時使用		m		
3栓同時使用		m		
4栓同時使用		m		
30 mmの延長		m		
うち1栓同時使用		m		
2栓同時使用		m		
3栓同時使用		m		
4栓同時使用		m		
			11.305	
給水器具 (分岐から末端水栓までの経路上)	口径(mm)	同時使用水栓数	損失水頭	流速(m/s)
チーズ(分岐 塩ビ管)	20	3	0.110	1.910
エルボ(塩ビ管)	20	3	0.110	1.910
エルボ(塩ビ管)	20	3	0.110	1.910
エルボ(塩ビ管)	20	3	0.110	1.910
給水栓	13	1	0.685	1.507
量水器(直線流羽車)	20	3	1.977	1.910
直結止水栓	20	3	0.439	1.910
ボール止水栓	20	3	0.439	1.910
サドル分水栓	20	3	0.439	1.910
			4.420	
判定結果				
総損失水頭			0.262 Mpa	OK
最大流速			1.9 m/s	2m/sec以内で問題なし
※一栓当たり使用水量12L/minの想定				

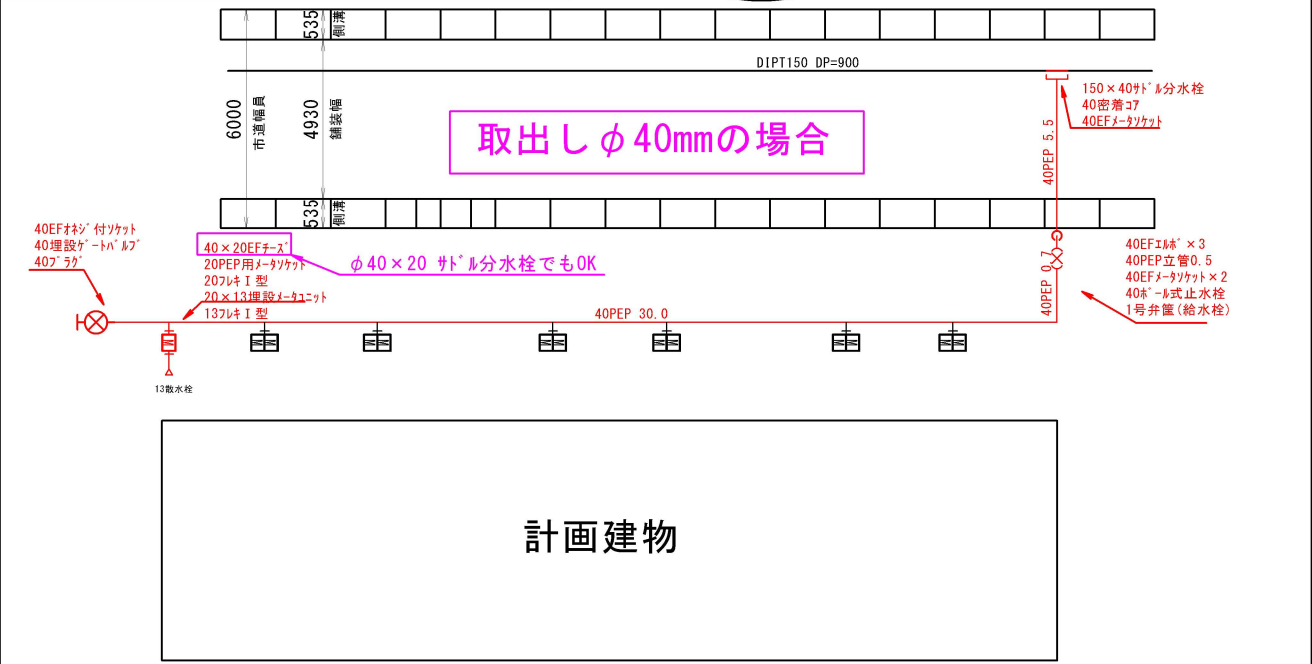
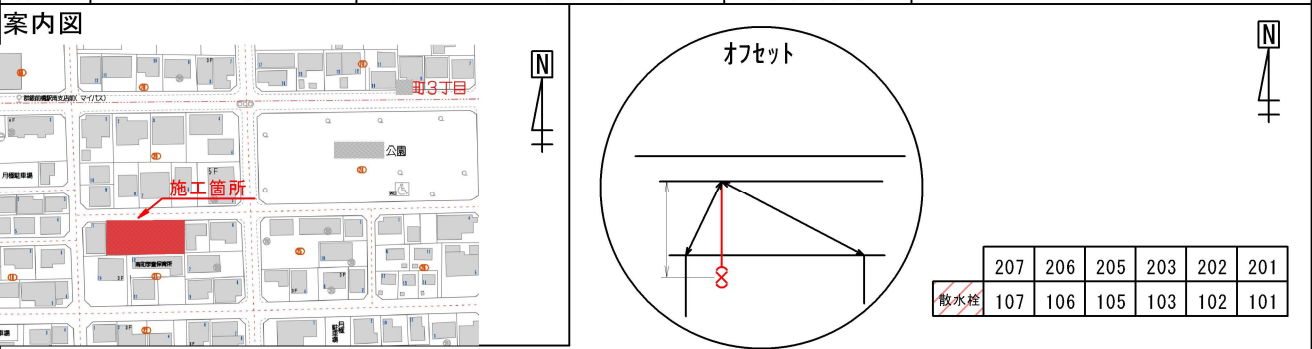
集合住宅（テナント）
給水装置工事明細書作図
参考

給水装置工事明細書

☒ 審査

☐ 検査

着工日 年 月 日 竣工日 年 月 日 水栓番号 123456



※ 通常の立会いに加えてアパートの場合、主管の洗管・水圧 立会予約を必ずすること。
洗管・水圧確認後にメータを渡すことができます。

主管口径は、どこへ記載しても良いが、
全て新設であれば末端の水栓へ記載したほうが水理計算が確認しやすい。
既設権利がある場合、改造工事でメータ口径変更を伴わない場合、改造工事主管口径30mm以上
の手数料になるため新設もしくは、口径増大、縮小を伴う箇所へ明記すると手数料が有利になる。

使用材料（一次側）【配水管埋設深： m、PEPメーカー：セキスイ】					使用材料（二次側）						
名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
φ150×40 サトル分水栓	1	個	40×20EFチーヌ	1	個	φ13メータユニット	1	個			
φ40 密着コブ	1	個	20PEP用メータソケット	1	個	φ13フレキⅠ型	1	個			
φ40 PEP用メータソケット	3	個	φ20 フレキⅠ型	1	個	φ13VPソケット	1	個			
φ40 PEPエルブ	3	個				φ13VP水栓ソケット	1	個			
φ40ホー ル式止水栓	1	個				φ13HIVP	0.5	m			
1号弁筐（給水栓）	1	個				φ13水栓柱	1	個			
φ40ホー ル式止水栓	1	個									
φ40PEPオネジ 付ソケット	1	個	公道PEP布設 φ40	5.0	m						
φ40埋設ゲートバルブ	1	個	宅内PEP布設 φ40	31.2	m						
φ40フ ラグ			舗装復旧工（仮）	2.8	m2						
			舗装復旧工（本）	5.9	m2						
配水管水圧	Mpa		残留塩素	mg/l (ppm)							

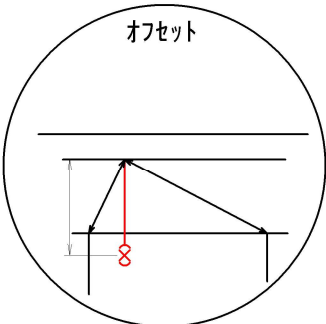
給水装置工事明細書

☒ 審査

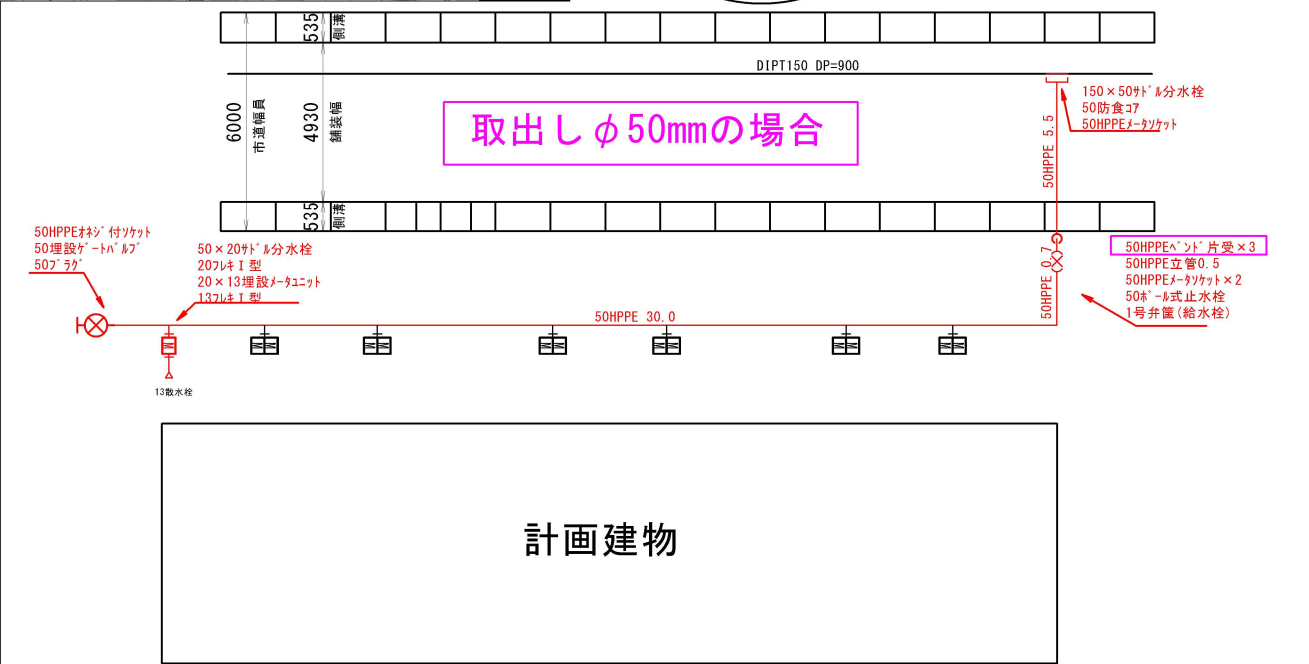
☐ 検査

着工日 年 月 日 竣工日 年 月 日 水栓番号 123456

案内図



	207	206	205	203	202	201
散水栓	107	106	105	103	102	101



- ※1 50mmの場合、エルブの使用は認めていない
90°を使用する際はHPPEﾊﾞﾝﾄﾞ片受 or HPPEﾊﾞﾝﾄﾞ両受
どちらかを使用すること
- ※2 50mmの場合、JWとAWの規格がありJW規格を使用すること。外径が異なるため注意！
表記は「HPPE」
それぞれのメタへの分岐は、サドル分水栓とすること。
- ※3 50mm使用時においてエルブ、AW管(チｰｽﾞ分岐を除く)を使用した際はやり直し！！
- ※4 通常の立会いに加えてアパートの場合、主管の洗管・水圧 立会予約を必ずすること。
洗管・水圧確認後にメタを渡すことができます。

使用材料（一次側）【配水管埋設深： m、HPPEメーカーゼキスイ】					使用材料（二次側）					
名称・形状等		数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等		数量	単位
φ150×50 サドル分水栓		1	個	φ50×20 サドル分水栓	1	個	φ13メータユニット		1	個
φ50 密着コブ		1	個	φ20 フレキⅠ型	1	個	φ13フレキⅠ型		1	個
φ50 HPPE用メータソケット		3	個				φ13VPソケット		1	個
φ50 HPPEバンド片受		3	個				φ13VP水栓ソケット		1	個
φ50ボール式止水栓		1	個				φ13HIVP		0.5	m
1号弁篋（給水栓）		1	個				φ13水栓柱		1	個
φ50HPPEオレシ付ソケット		1	個	公道HPPE布設 φ50	5.0	m				
φ50埋設ゲートバルブ		1	個	宅内HPPE布設 φ50	31.2	m				
φ50フラグ				舗装復旧工（仮）	2.8	m2				
				舗装復旧工（本）	5.9	m2				
配水管水圧		Mpa		残留塩素	mg/l (ppm)					

給水装置工事明細書

☒ 審査

☐ 検査

着工日

年 月 日

竣工日

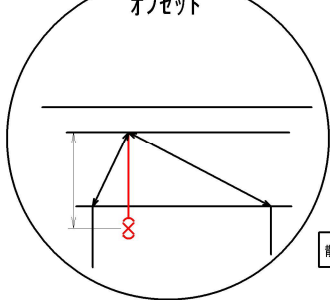
年 月 日

水栓番号

123456

案内図





207	206	205	203	202	201	
散水栓	107	106	105	103	102	101

DIPT150 DP=900

6000 市道幅員

4930 舗装幅

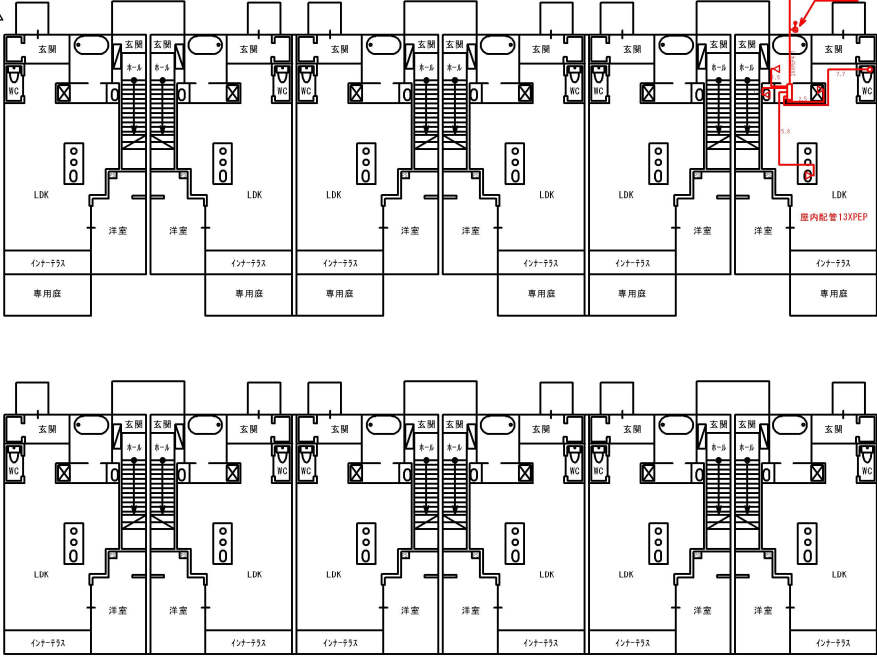
535 樹林帯

535 樹林帯

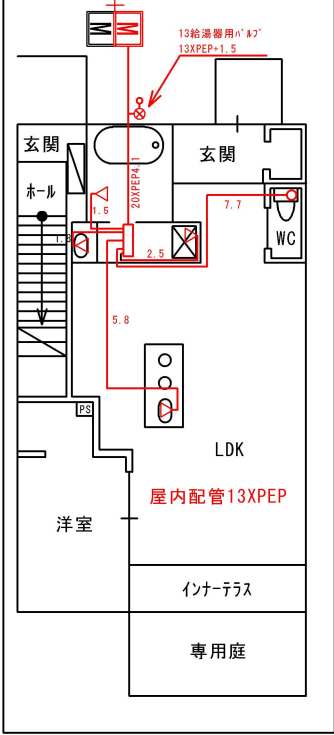
各部屋申請図面

40×25FFチース
257キ I 型
20機式メータユニット
207キ I 型

サト 8分岐でもOK



拡大図



使用材料（一次側）【配水管埋設深： m、PEPメーカー： 】

名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
φ40×25 PEP異形チース	1	個	φ複式20メータユニット	1	個	φ13混合水栓	2	個
φ25 PEP用メータソケット	1	個	φ207キ I 型	1	個	φ13シャワー水栓	1	個
φ25 フレキ I 型	1	個	φ20VPユニット	1	個	φ13洗濯機用単水栓	1	個
			φ20XPEP変換アダプター	1	個	φ13ロタンクアンクル止水	1	個
			φ20×13XPEPチース	1	個	φ13ロタンクボールタップ	1	個
			φ13XPEP水栓エルボ	1	個	φ13給湯用逆止付ボールバルブ	1	個
			φ給水ヘッダー 13×5P	1	個	φ13立水栓アンクル止水	2	個
			公道PEP布設 φ					
			宅内PEP布設 φ					
			舗装復旧工（仮）	4.7	m			
			舗装復旧工（本）	20.8	m			
			防寒装置 φ13φ20	20.8	m			

配水管水圧 Mpa

残留塩素 mg/l (ppm)

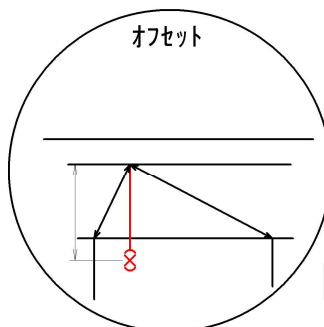
給水装置工事明細書

☒ 審查

□ 検査

着工日	年 月 日	竣工日	年 月 日	水栓番号	123456
-----	-------	-----	-------	------	--------

案内図

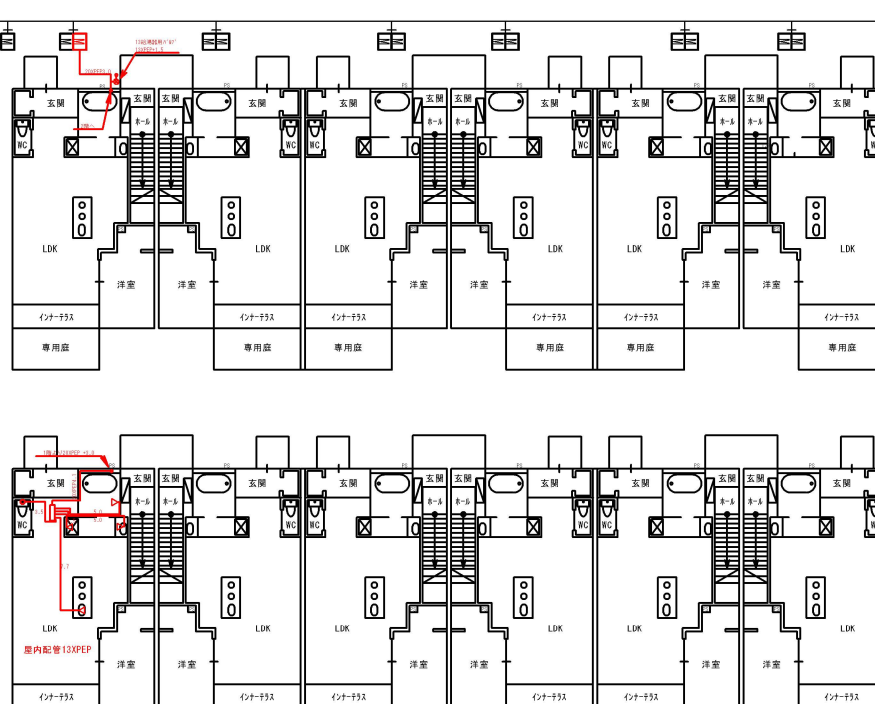
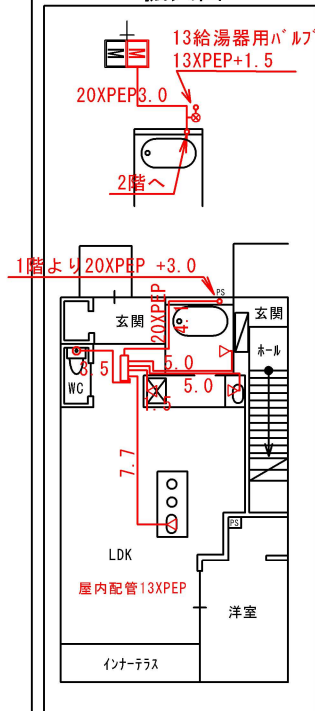


	207	206	205	203	202	201
散水栓	107	106	105	103	102	101

DIPT150 DP=900

各部屋申請図面

擴大圖



使用材料（一次側）【配水管埋設深： m、PEPメーカー： 】

使用材料（二次側）

名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位
			個					φ複式20メートルユニット	1	個			φ13混合水栓	2	個
			個					φ20フレキI型	1	個			φ13シャワー水栓	1	個
			個					φ20VPユニオン	1	個			φ13洗濯機用単水栓	1	個
			個					φ20XPEP変換アダプター	1	個			φ13ロータンクアンクル止水	1	個
			個					φ20×13XPEPチース	1	個			φ13ロータンクホールタップ	1	個
			個					φ13XPEP水栓エルボ	1	個			φ13給湯用逆止付ホールバルブ	1	個
			個					φ給水ヘッダー 13×5P	1	個			φ13立水栓アンクル止水	2	個
				公道PEP布設 φ		m									
				宅内PEP布設 φ		m									
				舗装復旧工(仮)		m2		φ20XPEP	4.7	m					
				舗装復旧工(本)		m2		φ13XPEP	20.8	m					
								防寒装置 φ13 φ20	20.8	m					
配水管水圧	Mpa			残留塩素	mg/l (ppm)										

給水装置工事明細書

☒ 審査

☐ 検査

着工日

年 月 日

竣工日

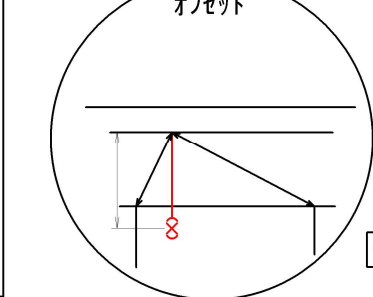
年 月 日

水栓番号

123456

案内図





	207	206	205	203	202	201
散水栓	107	106	105	103	102	101

6000
市道幅員

4930
舗装幅

535
側溝

DIPT150 DP=900

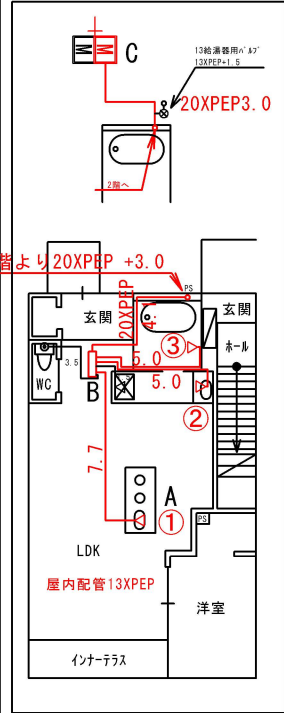
水理計算用図面 アパート

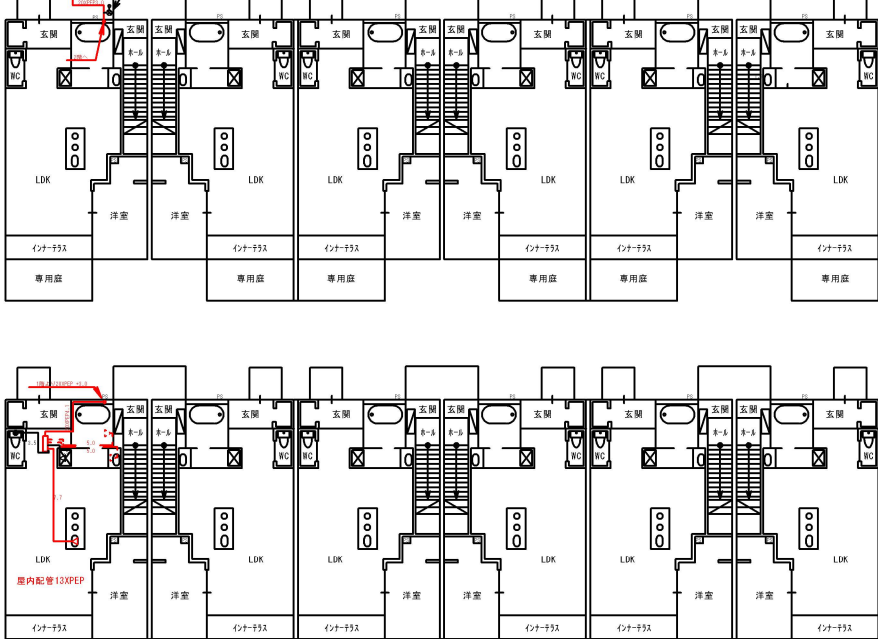
5.5

40PEP
L=3.0+4.0+3.0+4.0+3.0+4.5+5.0=21.5m

1.0 2.0 D 3.0 E 4.0 F 3.0 G 4.0 H 3.0 I 4.5

拡大図





使用材料（一次側）【配水管埋設深： m、PEPメーカー： 】				使用材料（二次側）				
名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
φ150×40 サトル分水栓	1	個	φ40×25 PEP異形チース	1	個	φ複式20メータユニット	1	個
φ40 密着コブ	1	個	φ25 PEP用メータソケット	1	個	φ20フレキI型	1	個
φ40 PEP用メータソケット	3	個	φ25 フレキI型	1	個	φ20VPユニツケ	1	個
φ40 PEPエルボ	3	個				φ20XPEP変換アダプター	1	個
φ40サトル式止水栓	1	個				φ20×13XPEPチース	1	個
1号弁籠（給水栓）	1	個				φ13XPEP水栓エルボ	1	個
						φ給水ヘッダー 13×5P	1	個
φ40PEPオシゲ付ソケット	1	個	公道PEP布設 φ40	5.0	m			
φ40埋設ゲートバルブ	1	個	宅内PEP布設 φ40	24.5	m			
φ40ラグ			舗装復旧工（仮）	2.8	m2	φ20XPEP	4.7	m
			舗装復旧工（本）	5.9	m2	φ13XPEP	20.8	m
						防寒装置 φ13φ20	20.8	m
配水管水圧		Mpa	残留塩素		mg/l (ppm)			

17

前橋市水道局給水装置工事設計施工指針

直結直圧方式集合住宅

給水装置の設計

給水装置設置場所

〇〇町〇-〇

給水装置設置者名

A

※青色セル:入力要

【総水栓の設定】 参考シート参照※1

用途	水栓数 (箇所)	使用水量 (L/min)	使用水量小計 (L/min)
台所流し	1	12	12
洗濯流し	1	12	12
洗面器	1	12	12
浴槽(和式)			
浴槽(洋式)			
シャワー	1	12	12
小便器(洗浄水槽)			
小便器(洗浄弁)			
大便器(洗浄水槽)			
大便器(洗浄弁)	1	12	12
手洗器			
消火栓(小型)			
散水			
洗車			
水栓戸数と使用水量を入力 使用水量はシートの参考に記載あります			
合計	5		60

一番水圧が必要な箇所
(ハッチ-先で一番延長があるところ)を起点

【同時使用の水栓の設定】 参考シート参照※2

同時使用率 3 栓を想定

用途	水栓数 (箇所)	使用水量 (L/min)	使用水量小計 (L/min)
台所流し	1	12	12
洗濯流し ^{3栓を選択}	1	12	12
洗面器		12	
浴槽(和式)			
浴槽(洋式)			
シャワー	1	12	12
小便器(洗浄水槽)			
小便器(洗浄弁)			
大便器(洗浄水槽)			
大便器(洗浄弁)		12	
手洗器			
消火栓(小型)			
散水			
洗車			
同時使用率に基づく流量の設定をします。 〇栓を想定となるため、指定された水栓を 一番水圧が必要な箇所を起点として選択。			
同時使用の水栓数	3	1戸の設計水量	36

【緒元】(戸数から同時使用水量を算定)

集合住宅の戸数	12 戸
全体の設計水量	100.4 L/min
現地最小動水圧	0.4 MPa

参考シート参照※3

一部屋あたりの設計数量 (二部屋目以降使用)	8.366667 L/min
---------------------------	----------------

【各戸メーターの管径】

Q:設計水量	0.0006 m ³ /s
V:流速	2 m/sと設定
管径想定値	20 mm

→

各戸メータの管径を 20 mmと仮設定

【給水主管の管径】

Q:設計水量	0.001673 m ³ /s
V:流速	2 m/sと設定
管径想定値	33 mm

→

給水主管の管径を 40 mmと仮設定

【管延長の損失水頭】

記号	管路区間	管径 mm(D)	区間の流量 L/min	区間の流速 m(V)	動水勾配 ‰(I)	管延長 m(L)	損失水頭 m(h)
A	A~B	13	12	1.506792361	228.251	7.7	1.757533
B	B~C	20	36	1.909859317	219.6942	0.5	0.109847
C	C~D	25	17	0.577201927	21.69808	10.4	0.22566
D	D~E	40	17	0.225469503	2.597998	3	0.007794
E	E~F	40	33	0.437676094	7.895435	4	0.031582
F	F~G	40	50	0.663145596	16.05102	3	0.048153
G	G~H	40	67	0.888615099	26.62532	4	0.106501
H	H~I	40	84	1.114084602	39.50925	3	0.118528
I	I~J	40	100	1.326291192	53.67935	10	0.536794
J	J~K	主管流量D~Jを全体の設計水量100.4L/minとしてまとめて計算しても					
K	K~L	OKです。安全側で計算するため					
管延長の損失水頭 合計							2.942391

前橋市HPにて公開している水理計算シートを利用して水理計算をしてください

①(同時使用率1・2F)、②(戸数1・2)、③(居住人数1・2F)のどれか

前橋市の基準を満たすものを提出してもらえればOKです。

配水管の最小動水圧と比較してOKか、最大流速が2.0m/sec未満で問題ないか確認します。

【給水器具の損失水頭】		参考シート参照※4					
記号	給水器具等	口径・管径 mm(D)	区間の流量 L/min	区間の流速 m(V)	動水勾配 ‰(I)	直管換算延長 m(L)	損失水頭 m(h)
A	給水栓	13	12	1.506792361	228.251	3	0.684753
C	複式メータユニット	20	36	1.909859317		—	
D	チーズ(分岐 EF接合)	25	17	0.577201927	21.69808	1.2	0.026038
I〜J	エルボ(EF接合)	40	100	1.326291192	53.67935	1.6	0.085887
I〜J	ボール止水栓	40	100	1.326291192	53.67935	3	0.161038
I〜J	エルボ(EF接合)	40	100	1.326291192	53.67935	1.6	0.085887
I〜J	エルボ(EF接合)	40	100	1.326291192	53.67935	1.6	0.085887
J	サドル分水栓	40	100	1.326291192	53.67935	8	0.429435
	主管としてのチーズは損失を考えなくてもOK。各チーズ材料は、入れなくてもよい。						
B	給水用ヘッダー	13					1
	総立上り高(配水管から最高位給水栓までの高さ)						5
	末端給水器具の必要圧力						7
	給水器具等及び立上がりの損失水頭及び所要水頭 合計						14.55892
【判定】							
管延長損失水頭の合計		2.942391	m(h)				
給水器具等損失水頭の合計		14.55892	m(h)				
全所要水頭		17.50132	m				
SI単位に変換して		0.172	MPa				
配水管の最小動水圧と比較して		OK	なので	設定の管径とする			
最大流速は		1.9099	m/sec	問題なし			

私子メータ→局子メータへの申請

「直結増圧給水」及び「受水槽」の先のみ該当

申請作図
施工例

様式第 1 号 収受 年 月 日 第 号

給水装置工事明細書				(☐ 審査 ☐ 検査)							
着工日	年	月	日	竣工日	年	月	日	水道番号			
条件				新設サドル分岐							
サドル分岐申請図面作図例 分岐口径φ20～40											
既設取出しと端端で30cm以上の離隔をとること 30cm以上 30cm以上 本管受口より端端で最低30cm以上の離隔をとること DIP100 DP=0.9m φ100×20 サドル分水栓 φ20 密着コブ φ20 PEP用メータソケット ※DIP、銅管(VLP, VD, PDなど)からの取出しの場合、密着コブを入れること 取出し後、フル使用可 φ20PEP L=4.0m φ20PEPエルボ×2 φ20PEP用メータソケット φ20ボール式止水栓 止水栓筐(小) φ20フレキⅡ型 φ20メータユニット φ20フレキⅠ型 φ20VPユニオン φ20×13 立水栓 内線											
使用材料(一次側)【配水管埋設深: m、PEPメーカー: 】					使用材料等(二次側)						
名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
φ100×20 サドル分水栓	1	個				φ20メータユニット	1	個			
φ20 密着コブ	1	個				φ20フレキⅠ型	1	個			
φ20 PEP用メータソケット	2	個				φ20VPユニオン	1	個			
φ20PEPエルボ	2	個				φ20×13 立水栓	1	個			
φ20ボール式止水栓	1	個									
止水栓筐(小)	1	個									
φ20フレキⅡ型	1	個									
			公道PEP	3.0	m						
			民地PEP	1.0	m						
配水管水圧	Mpa		残留塩素	mg/l (ppm)							

給水装置工事明細書

(☐ 審査 ☐ 検査)

着工日	年 月 日	竣工日
-----	-------	-----

年 月 日

水道番号

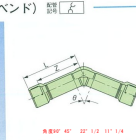
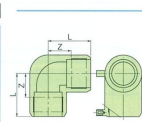
条件

φ50m取出し作図・施工例

※φ50mmは、ISO規格外径の材料を使用すること
 積水化学では、JW規格を使用すること
 ※E1は使用せず、ベント90°を使用すること

こちらは使用しないこと

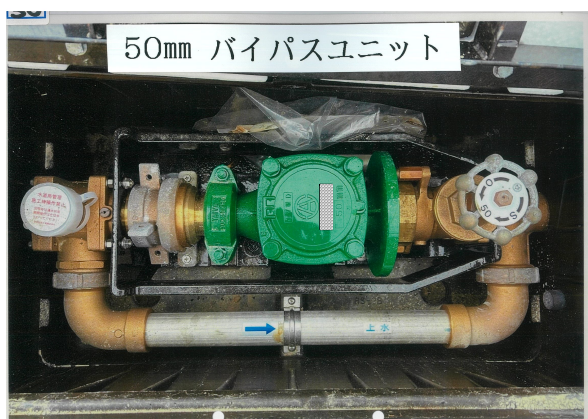
ベントを使用すること



DIP100 DP=1.2m

φ100×50 サトル分水栓
φ50 密着コブ
φ50 HPPE用メータソケット

取出し後、フルキ使用可

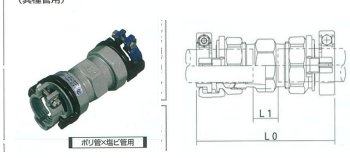
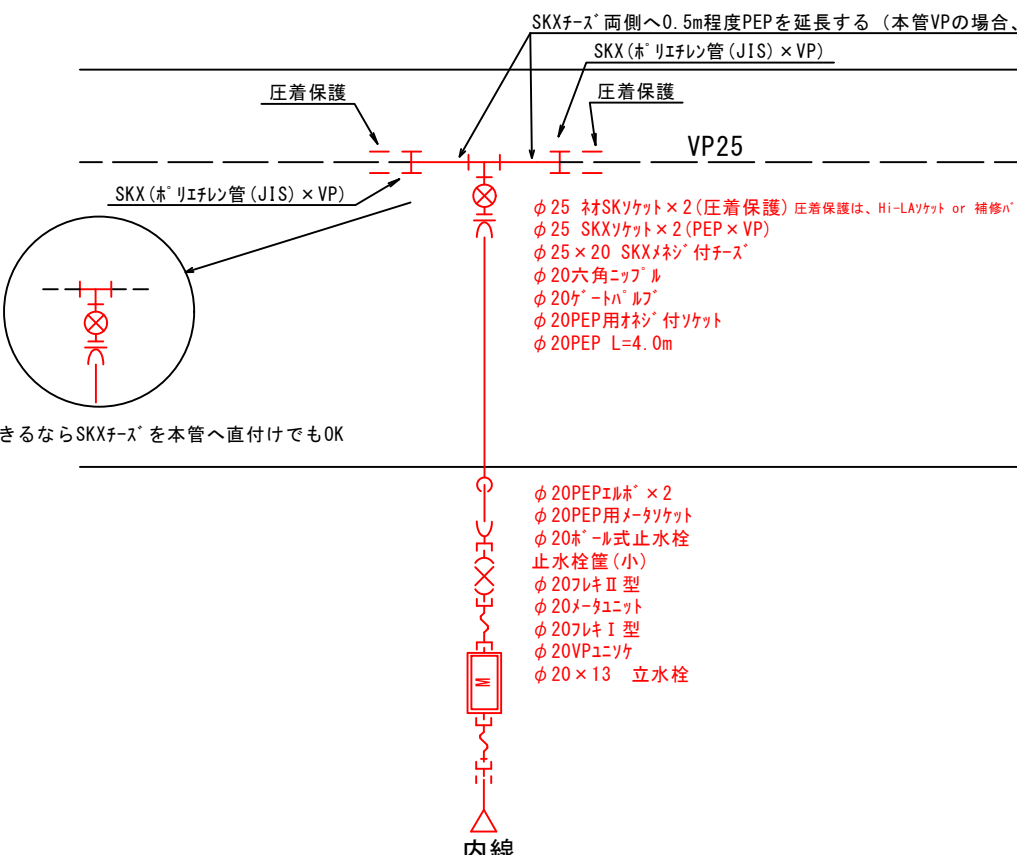


- φ50HPPE L=4.0m
- φ50HPPEへ^へン^く 90° 両受×2
- φ50HPPE用メタルソケット
- φ50^ホール式止水栓
1号弁筐(給水栓)
- φ50フレキII型
- φ50SPソフク
- φ50メーパ^ルイハ^ススニツト(逆止弁付)
- φ50SPソフク
- φ50フレキI型
- φ50VPユニソフク
- φ50×20 VP異径ソケット
- φ20×13 立水栓

内線

使用材料（一次側）【配水管埋設深：m、PEPメーカー：】				使用材料等（二次側）			
名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位
φ100×50 サドル分水栓		1	個	φ50メーダー・イバース（逆止弁付）		1	個
φ50 密着コブ		1	個	φ50SPシメキ		1	個
φ50 HPPE用メータソケット		2	個	φ50フレキⅠ型		1	個
φ50HPPE ヘント°90° 両受		2	個	φ50VPユニソナ		1	個
φ50ホース式止水栓		1	個	φ50×20 VP異径ソケット		1	個
1号弁筐（給水栓）		1	個	φ20×13 立水栓		1	個
φ50フレキⅡ型		1	個				
φ50SPシメキ		1	個				
			公道PEP	3.0	m		
			民地PEP	1.0	m		
配水管水压		Mpa		残留塩素		mg/l (ppm)	

様式第 1 号 収受 年 月 日 第 号

給水装置工事明細書				(☐ 審査 ☐ 検査)	
着工日	年 月 日	竣工日	年 月 日	水道番号	
条件					
チース 取出し施工・作図例 SKXメネジ 付チース					
SKX枝部めねじ付チース  SKXソケット (異種管用) 				該当管種・口径 PP20~30mm VP20~25mm等 ※本管VP30mmの場合 VP30×20のサドルあり	
 φ25 材SKソケット×2 (圧着保護) 圧着保護は、Hi-LAソケット or 補修バンドでもOK φ25 SKXソケット×2 (PEP×VP) φ25×20 SKXメネジ 付チース φ20六角ニップル φ20ゲートバルブ φ20PEP用オネジ 付ソケット φ20PEP L=4.0m φ20PEPエルブ×2 φ20PEP用メータソケット φ20ボール式止水栓 止水栓筐 (小) φ207レキII型 φ20メータユニット φ207レキI型 φ20VPユニソケ φ20×13 立水栓 内線					
使用材料 (一次側) 【配水管埋設深: m、PEPメーカー: 】					
名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
φ25 SKXソケット (PEP×VP)	1	個			
φ25 材SKソケット (圧着保護)	2	個			
φ25×20 SKXメネジ 付チース	2	個			
φ20六角ニップル	1	個			
φ20ゲートバルブ	1	個			
φ20PEP用オネジ 付ソケット	1	個			
φ20PEPエルブ	2	個			
φ20PEP用メータソケット	1	個			
φ20ボール式止水栓	1	個	公道PEP φ25mm	1.0	m
止水栓筐 (小)	1	個	公道PEP φ20mm	3.0	m
φ207レキII型	1	個	民地PEP φ20mm	1.0	m
配水管水圧			Mpa	残留塩素	mg/l (ppm)

給水装置工事明細書

(☐ 審査 ☐ 検査)

着工日	年 月 日	竣工日
-----	-------	-----

年 月 日

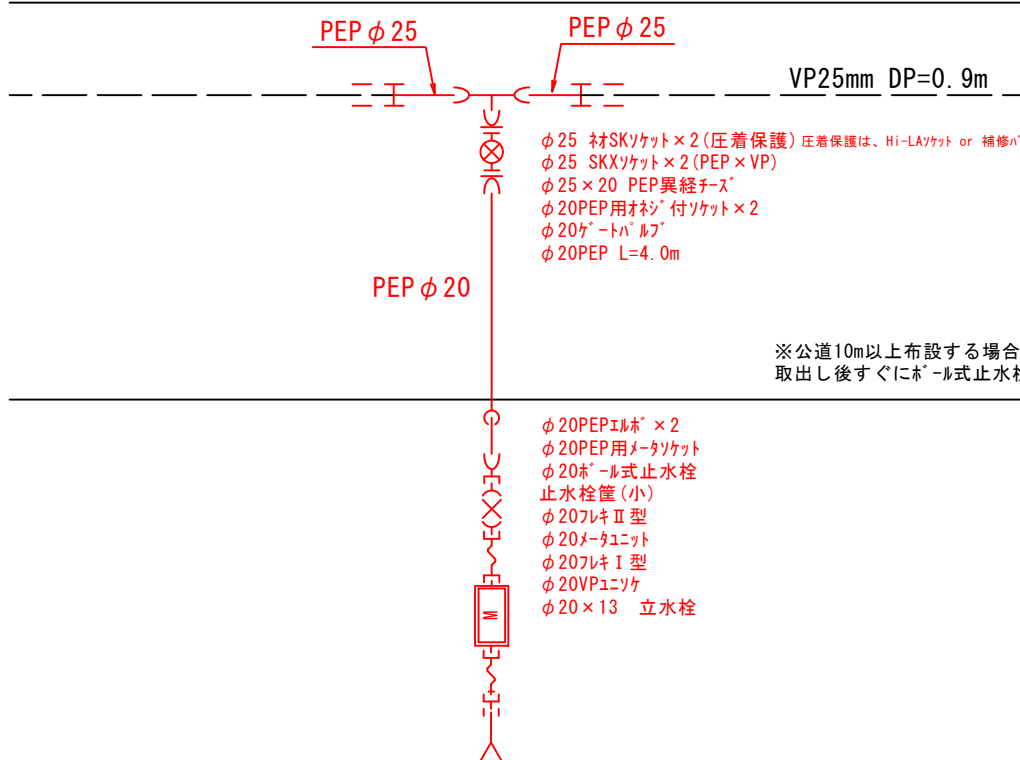
水道番号

条件

チーズ` 取出し施工例
PEPチーズ`



該当管種・口径
PP20～30mm
VP20～25mm等
※本管VP30mmの場合
VP30×20のサドルあり



※公道10m以上布設する場合は、
 取出し後すぐにポール式止水栓を設置すること。

φ20PEPエルボ×2
 φ20PEP用メータソケット
 φ20ボール式止水栓
 止水栓筐(小)
 φ20フレキⅡ型
 φ20メータユニット
 φ20フレキⅠ型
 φ20VPユニソケ
 φ20×13 立水栓

[illegible]

給水装置工事明細書

(☐ 審査 ☐ 検査)

着工日	年 月 日	竣工日
-----	-------	-----

年 月 日

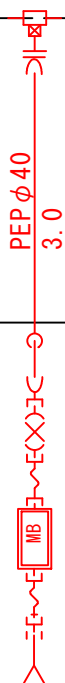
水道番号

条件

不断水割T字管
による取出し施工例
本管VP50mm 分岐管40mm



VP50mm DP=0.9m



φφ50×φ40不断水割T字管 ハ^ルフ^付(ネジ^型)VP用
φ40PEP用ネジ^付ソケット

※公道10m以上布設する場合は、
 取出し後すぐにボール式止水栓を設置すること。

- φ 40PEエルボ* × 2
- φ 40PE用メータソケット
- φ 40ホ*ル式止水栓
- 1号弁筐(給水栓)
- φ 40フレキⅡ型
- φ 40メータユニット
- φ 40フレキⅠ型
- φ 40VPユニソク
- φ 40 × 20異経ソケット
- φ 40 × 13 立水栓

使用材料（一次側）【配水管埋設深： m、PEPメーカー： ｝					使用材料等（二次側）				
名称・形状等		数量	単位		名称・形状等		数量	単位	
φ50×φ40不断水割T字管					φ40メータパインユニット		1	個	
パルプ付（ネジ型）VP用		1	個		φ40SPシモ		1	個	
φ40PEP用オネジ付ソケット		1	個		φ40フレキⅠ型		1	個	
φ40PEPエルブ		2	個		φ40VPユニソク		1	個	
φ40PEP用メータソケット		1	個		φ40×20 VP異経ソケット		1	個	
φ40ホース式止水栓		1	個		φ20×13 立水栓		1	個	
1号弁籠（給水栓）		1	個						
φ40フレキⅡ型		1	個						
φ40SPシモ		1	個						
			公道PEP φ40		3.0	m			
			民地PEP φ40		1.0	m			
配水管水圧		Mpa		残留塩素		mg/l (ppm)			

給水装置工事明細書

(☐ 審査	☐ 検査)
-------------------------------	-------------------------------

着工日	年 月 日	竣工日
-----	-------	-----

年 月 日

水道番号

条件

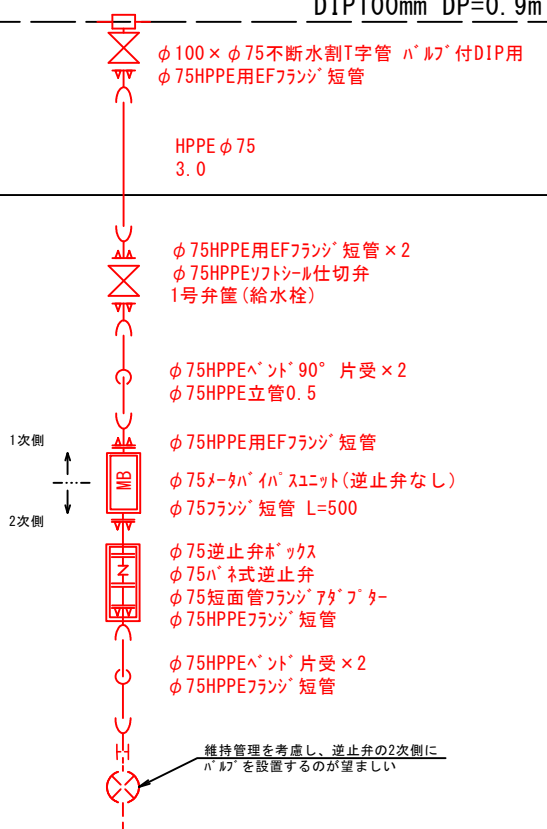
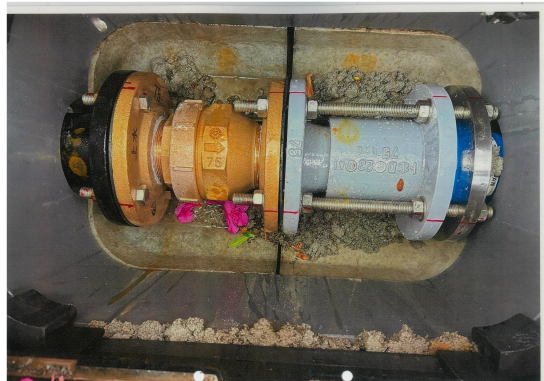
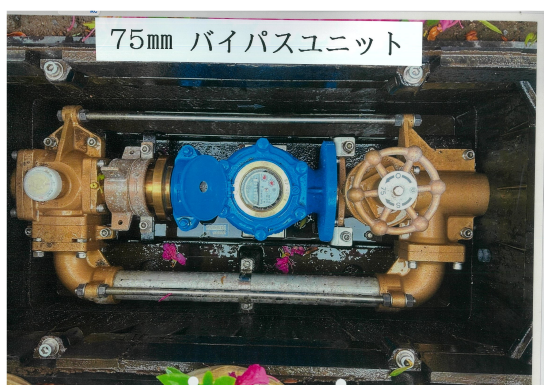
不斷水割T字管による
取出し、メータパイプユニット
申請作図例
分岐管φ75mm



※1次側フランジ^{*}部は、GFハッキンを使用すること

※メ-タ1次側、2次側の立上げ部をDIPにしてもOK

DIP100mm DP=0.9m



内線

[illegible]

給水装置工事明細書

(☐ 審査 ☐ 検査)

着工日	年 月 日	竣工日
-----	-------	-----

年 月 日

水道番号

条件

取出し直し
 同時撤去
 既設管チース
 圧着後チース 撤去の場合

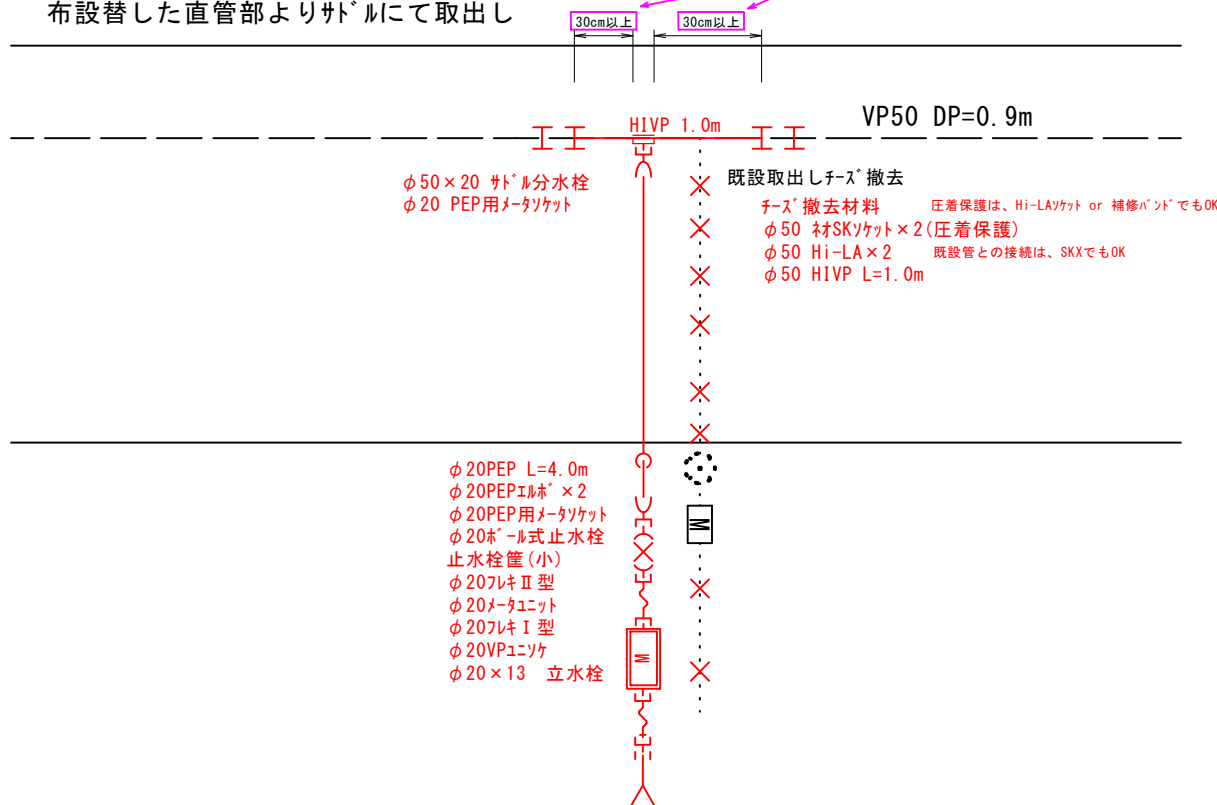
チース 撤去：枝部でキャップ止めとせず、
チース 部材全てを取除き、直管 or 曲管にて
分岐がない材料へ布設替えをすること。



工事内容

チズ[®] 撤去→直管へ
布設替した直管部よりサトルにて取出し

既設管の接続箇所とサドルの端端で30cm以上の離隔をとること



水道番号: 123456

使用材料（一次側）【配水管埋設深：m、PEPメーカー：】						使用材料等（二次側）					
名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位
φ50×20 サトル分水栓		1	個	φ50 材SKソケット(圧着保護)		2	個	φ20メータユニット		1	個
φ20 PEP用メータソケット		2	個	φ50 Hi-LA		2	個	φ20フレキⅠ型		1	個
φ20PEPエルボ		2	個	φ50 HIVP		1.0	m	φ20VPユニツケ		1	個
φ20ホール式止水栓		1	個					φ20×13 立水栓		1	個
止水栓筐(小)		1	個								
φ20フレキⅡ型		1	個								
				公道PEP		3.0	m				
				民地PEP		1.0	m				

様式第 1 号 収受 年 月 日 第 号

給水装置工事明細書				(☐ 審査 ☐ 検査)				
着工日	年	月	日	竣工日	年	月	日	水道番号
条件				チース 撤去：枝部根本を切断後、 フクロジョイントをスライドして止水する ※一時水が出る状況になります。				
取出し直し 同時撤去 既設管VPチース フクロジョイントによる撤去の場合				※KTチース や鋼管チース などはフクロジョイントをスライドすることができないため、 圧着によりチース 部材を撤去し、直管へ布設替えをしてください。				
切断 枝管切断 フクロジョイントをスライドして設置 フクロジョイントをスライドして枝部の止水をする φ50×20 サドル分水栓 φ20 PEP用メータソケット 閉栓材料 φ50 フクロジョイント φ20PEP L=4.0m φ20PEPエルbow ×2 φ20PEP用メータソケット φ20ホース式止水栓 止水栓筐(小) φ20フレキII型 φ20メータユニット φ20フレキI型 φ20VPユニツケ φ20×13 立水栓 水道番号: 123456 ※VP40mm～材料あり 水道番号: 123456 ※チース 撤去後、既設VP50任意の位置より取出し可								
使用材料(一次側)【配水管埋設深： m、PEPメーカー： 】				使用材料等(二次側)				
名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
φ50×20 サドル分水栓	1	個	φ50 フクロジョイント	1	個	φ20メータユニット	1	個
φ20 PEP用メータソケット	2	個				φ20フレキI型	1	個
φ20PEPエルbow	2	個				φ20VPユニツケ	1	個
φ20ホース式止水栓	1	個				φ20×13 立水栓	1	個
止水栓筐(小)	1	個						
φ20フレキII型	1	個						
			公道PEP	3.0	m			
			民地PEP	1.0	m			
配水管水圧	Mpa		残留塩素	mg/l (ppm)				

給水装置工事明細書										(☐ 審査 ☐ 検査)											
着工日		年		月		日		竣工日		年		月		日		水道番号		111111			
条件																					
共有管元閉栓、取出直し 取出しと同時に撤去、複数権利あり 同一場所、同一所有者										申請図面											
										DIP100 DP=0.9m											
φ100×20 サトール分水栓 φ20 密着コブ φ20 PEP用メータソケット										φ20サトールキャップ 20LP											
φ20PEP L=4.0m φ20PEPエルボ×2 φ20PEP用メータソケット φ20ボール式止水栓 止水栓筐(小) φ20フレキⅡ型 φ20メータユニット φ20フレキⅠ型 φ20VPユニツケ φ20×13 立水栓										水道番号:111111 水道番号:222222											
水道番号:111111 口径増大 (水道番号:222222 加入金充当廃止)																					
口径増大にて222222の権利を充当廃止する場合、申請時廃止届を提出すること。 また、完成時水道番号:222222の元撤去図面を残すため 完成書類提出時に水道番号:222222の申込書、給水装置工事明細書を提出する。(手数料なし) 次ページ工事明細書参考図 ※同時撤去にて権利が残る場合は、残る水道番号にて撤去の申請(手数料あり)が必要となります。 ※所有者が違う場合、給水装置所在地が違う場合、それぞれ申請(手数料あり)が必要となります。																					
使用材料(一次側)【配水管埋設深: m、PEPメーカー:										使用材料等(二次側)											
名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位	名称・形状等		数量	単位		
φ100×20 サトール分水栓		1	個	φ20サトールキャップ		1	個	φ20メータユニット		1	個										
φ20 密着コブ		1	個					φ20フレキⅠ型		1	個										
φ20 PEP用メータソケット		2	個					φ20VPユニツケ		1	個										
φ20PEPエルボ		2	個					φ20×13 立水栓		1	個										
φ20フレキⅡ型		1	個																		
φ20ボール式止水栓		1	個																		
止水栓筐(小)		1	個																		
				公道PEP		3.0	m														
				民地PEP		1.0	m														
配水管水圧		Mpa		残留塩素		mg/l (ppm)															

[illegible]

[illegible]

給水装置工事明細書				(☐ 審査 ☒ 検査)						
着工日	年	月	日	竣工日	年	月	日	水道番号	222222	
条件										
完成時提出図 同時撤去、複数権利あり 共有管閉栓図 加入金充当廃止部										

※完成時、この工事明細書と工事申込書を添えて提出すること

DIP100 DP=0.9m

φ20サト^{*}ルキャップ

φ20サト^{*}ルキャップ^{*}

水道番号：111111

水道番号：222222

使用材料（一次側）【配水管埋設深： m、PEPメーカー： 】					使用材料等（二次側）						
名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
			φ20サト [*] ルキャップ [*]	1	個						
配水管水圧		Mpa	残留塩素		mg/l (ppm)						

給水装置工事明細書

(☐ 審査 ☐ 検査)

着工日	年	月	日	竣工日	年	月	日	水道番号	111111
-----	---	---	---	-----	---	---	---	------	--------

条件

既設管利用
止水栓なし（乙止水栓なし）



既設PP管利用

既設VP管利用

既設LP管利用

DIP100 DP=0.9m

既設φ20PP

- φ20材SKソケット(圧着保護)
- φ20材[®]止水ソケ
- φ20材[®]-Ⅱ式止水栓
- 止水栓筐(小)
- φ20フレⅡ型
- φ20メータユニット
- φ20フレⅠ型
- φ20VPユニツケ
- φ20×13 立水栓

既設111111

※既設管圧着施工

DIP100 DP=0.9m

既設の20VP

- φ20材SKソケット(圧着保護)
- φ20Hi-LA
- φ20VPユニツケ
- φ20ホ^ホール式止水栓
- 止水栓筐(小)
- φ20フレキⅡ型
- φ20メ^メタユニット
- φ20フレキⅠ型
- φ20VPユニツケ
- φ20×13 立水栓

既設111111

※既設管圧着施工

DIP100 DP=0.9m

既設φ20LP

φ20SKX (LP×VP)
 φ20VPユニツケ
 φ20ホール式止水栓
 止水栓筐(小)
 φ20フレキⅡ型
 φ20メータユニット
 φ20フレキⅠ型
 φ20VPユニツケ
 φ20×13 立水栓

既設111111

※既設鉛管を切って水を出しっぱなしで
SKX〜ホール式止水栓までを取り付ける
既設鉛管使用する誓約書を申請時提出すること

※水が出た状態で施工が困難な場合は、凍結工法により施工も可

使用材料(一次側)【配水管埋設深: m、PEPメーカー: 】

使用材料等(二次側)

名称·形状等	数量	单位	名称·形状等	数量	单位	名称·形状等	数量	单位	名称·形状等	数量	单位
--------	----	----	--------	----	----	--------	----	----	--------	----	----

使用材料を記載すること

配水管水压	Mpa	残留塩素	mg/l (ppm)
-------	-----	------	------------

[illegible]

[illegible]

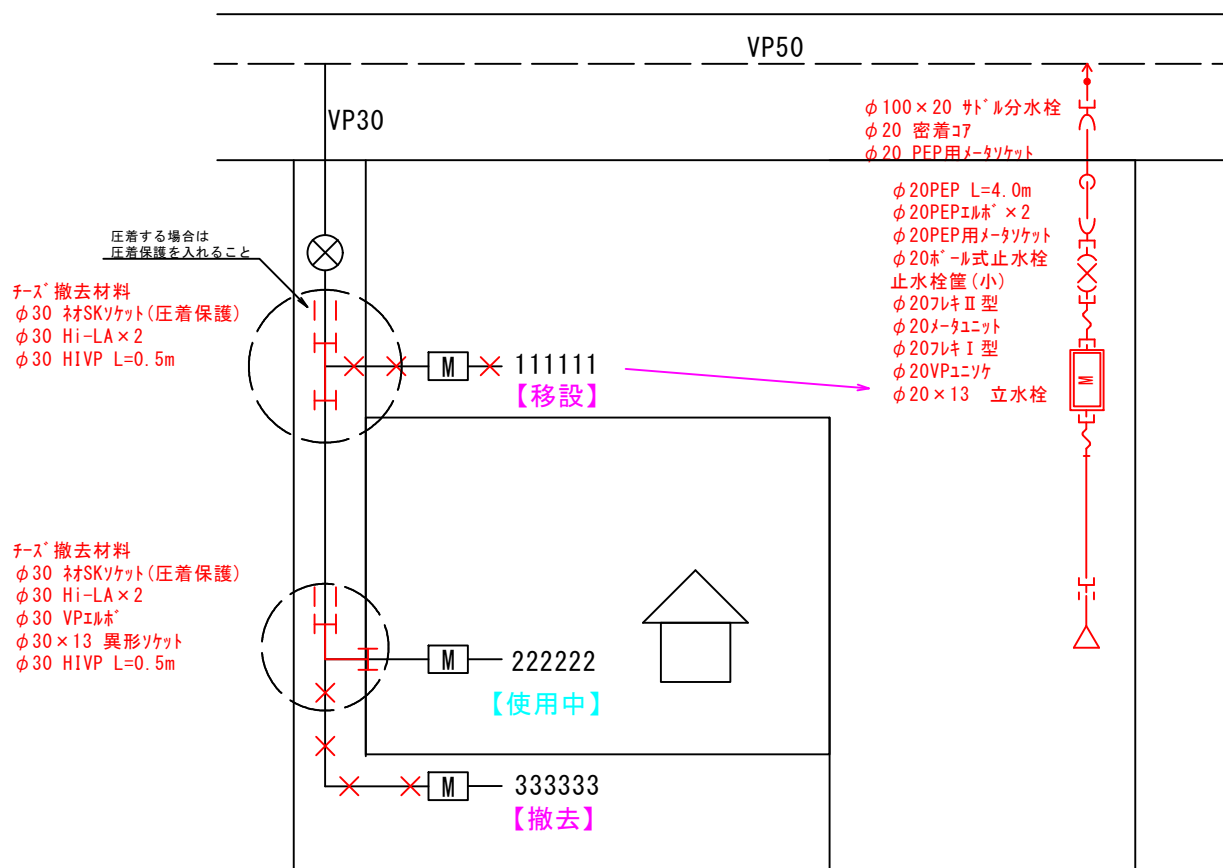
給水装置工事明細書

(☐ 審査 ☐ 検査)

着工日	年	月	日	竣工日	年	月	日	水道番号	111111
-----	---	---	---	-----	---	---	---	------	--------

条件

給水管共有管分岐元閉栓①



※既設管との接続は、糊付けとせずHi-LAやSKXにて接続すること

※チース撤去→直管へ布設替えすること

末端の撤去においては、使用中の家の分岐材料チーズ®をエルボ®へ布設替えすること

使用材料（一次側）【配水管埋設深： m、PEPメーカー： 】					使用材料等（二次側）				
名称・形状等		数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
φ100×20 ｽﾎｰﾙ分水栓	1	個	φ30 ｽﾎｰﾙSKｼｬｯﾄ(圧着保護)	2	個				
φ20 密着ｺﾌ	1	個	φ30 Hi-LA	4	個				
φ20 PEP用ﾒｰﾀﾞｼｬｯﾄ	2	個	φ30 VPﾍﾙﾌ	1	個				
φ20PEPﾍﾙﾌ	2	個	φ30 HIVP	1.0	m				
φ20ﾌﾗｲﾍﾞﾙⅡ型	1	個	φ30×13 異形ｼｬｯﾄ	1	個				
φ20ｽﾎｰﾙ式止水栓	1	個	撤去材料を記載してください						
止水栓筐(小)	1	個							
			公道PEP	3.0	m				
			民地PEP	1.0	m				
配水管水圧	Mpa		残留塩素	mg/l (ppm)					

給水装置工事明細書

(☐ 審査 ☐ 検査)

着工日	年 月 日	竣工日
-----	-------	-----

年 月 日

水道番号

条件

給水管共有管分岐元閉栓②

やむをえず民民境界にて

閉栓をする場合

SKXパイプエンド

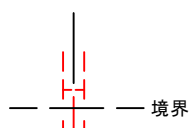


略称/SKX-END



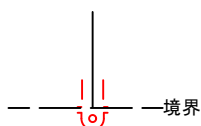
やむを得ない事情により 宅内での閉栓方法

VP50



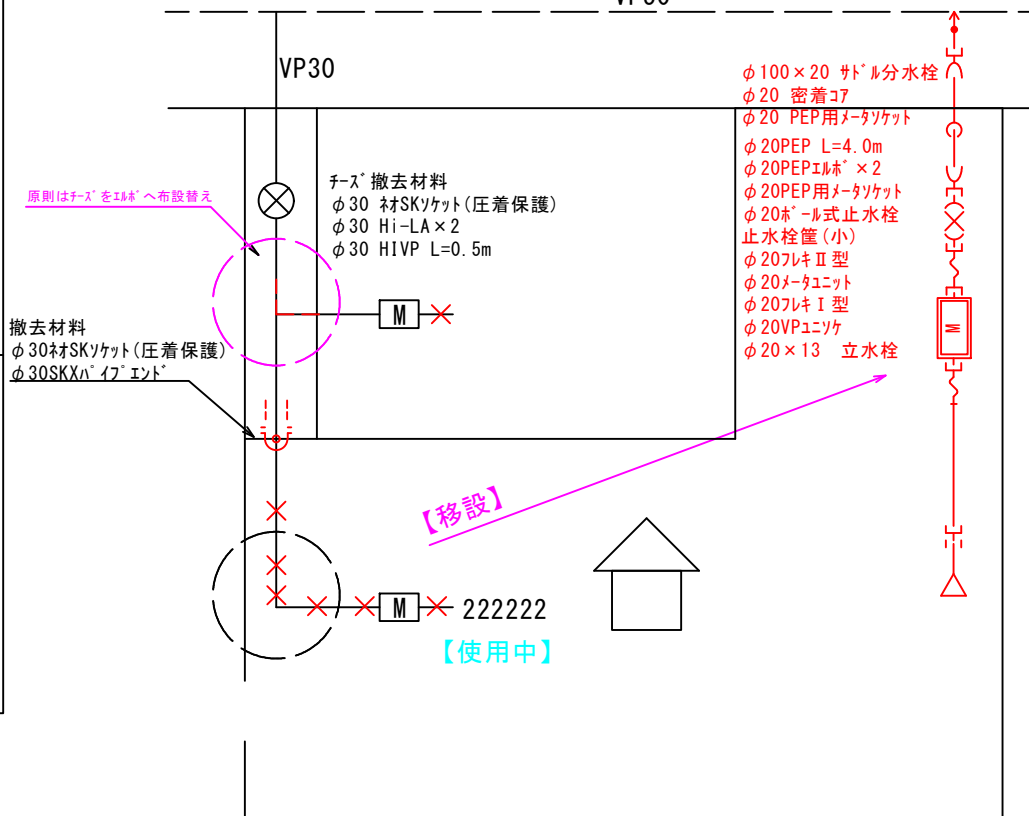
チ-ス[®]撤去材料
φ30 材SKソケット(圧着保護)
φ30 Hi-LA
φ30 VD L=0.3m
φ30 鋼管キャップ[®]

竣工時閉栓位置
オセットを取ること



チース 撤去材料
φ30 材SKソケット(圧着保護)
φ30 SKXハーフ・イント

竣工時閉栓位置
ワセットを取ること



※塩ビキャップ等 糊付けでの閉栓としないこと

※既設管との接続は、糊付けとせずHi-LAやSKXにて接続すること

※原則チース撤去→直管へ布設替えすること

末端の撤去においては、使用中の家の分岐材料チース®をエルボ®へ布設替えすること

使用材料（一次側）【配水管埋設深： m、PEPメーカー： 】					使用材料等（二次側）				
名称・形状等		数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
φ100×20 ｽﾎｰﾙ分水栓	1	個	φ30 ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞSKｼｬｰﾄﾞ(圧着保護)	1	個				
φ20 密着ｺﾞﾑ	1	個	φ30 SKｼｬｰﾄﾞｲﾝﾍﾞｰﾙﾄﾞ	1	個				
φ20 PEP用ﾏｰｸｼｬｰﾄﾞ	2	個	撤去材料を記載してください						
φ20PEPﾍﾞﾙﾄﾞ	2	個							
φ20ﾌﾚｯｼﾞII型	1	個							
φ20ｽﾎｰﾙ式止水栓	1	個							
止水栓筐(小)	1	個							
			公道PEP	3.0	m				
			民地PEP	1.0	m				
配水管水圧	Mpa		残留塩素	mg/l (ppm)					

様式第 1 号 収受 年 月 日 第 号

給水装置工事明細書				(☐ 審査 ☐ 検査)							
着工日	年	月	日	竣工日	年	月	日	水道番号	123456		
条件				分岐元へバルブがある場合の閉栓		分岐元へバルブがない場合					
VP50mm片押し管にてチース分岐管撤去 断水ができない場合① 【要協議】											
チース撤去材料 φ50 材SKソケット×2 (圧着保護) φ50 Hi-LA×2 φ50 HIVP L=1.0m φ50×30 サトル分水栓 φ30 ホリ止水ソク HIVP 1.0m VP50 DP=0.9m 既設取出しチース撤去 仮設ホリエチレン管 φ30 L=2.0m サトルキャップ 既設取出しチース撤去後 HIVP 1.0m サトルキャップ 仮設ホリエチレン管撤去 φ30 L=2.0m φ40VLP ※圧着できる箇所まで掘削 サトル分水栓×2 ホリエチレン管にて仮設パイプ布設 チース (VLP) 撤去後、直管へ 通水後、パイプスに使用したサトル分水栓へサトルキャップ 仮設にて布設したPP管撤去 水道番号:123456											
使用材料 (一次側) 【配水管埋設深: m、PEPメーカー: 】					使用材料等 (二次側)						
名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
			φ50 材SKソケット (圧着保護)	2	個						
			φ50 Hi-LA	2	個						
			φ50 HIVP	1.0	m						
			φ50×30 サトル分水栓 (仮設)	2	個						
			φ30 ホリ止水ソク (仮設)	2	個						
			φ30 PPエルボ (仮設)	2	個						
			φ30 サトルキャップ	2	個						
			道路 PP φ30 (仮設)	2.0	m						
配水管水圧 Mpa 残留塩素 mg/l (ppm)											

給水装置工事明細書

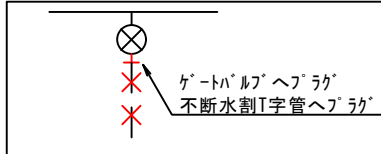
(☐ 審査 ☐ 検査)

着工日	年	月	日	竣工日	年	月	日	水道番号	
-----	---	---	---	-----	---	---	---	------	--

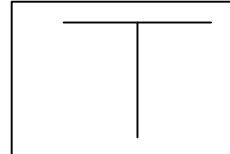
条件

VP50mm片押し管にてチズ分岐管撤去
断水ができない場合②
【要協議】

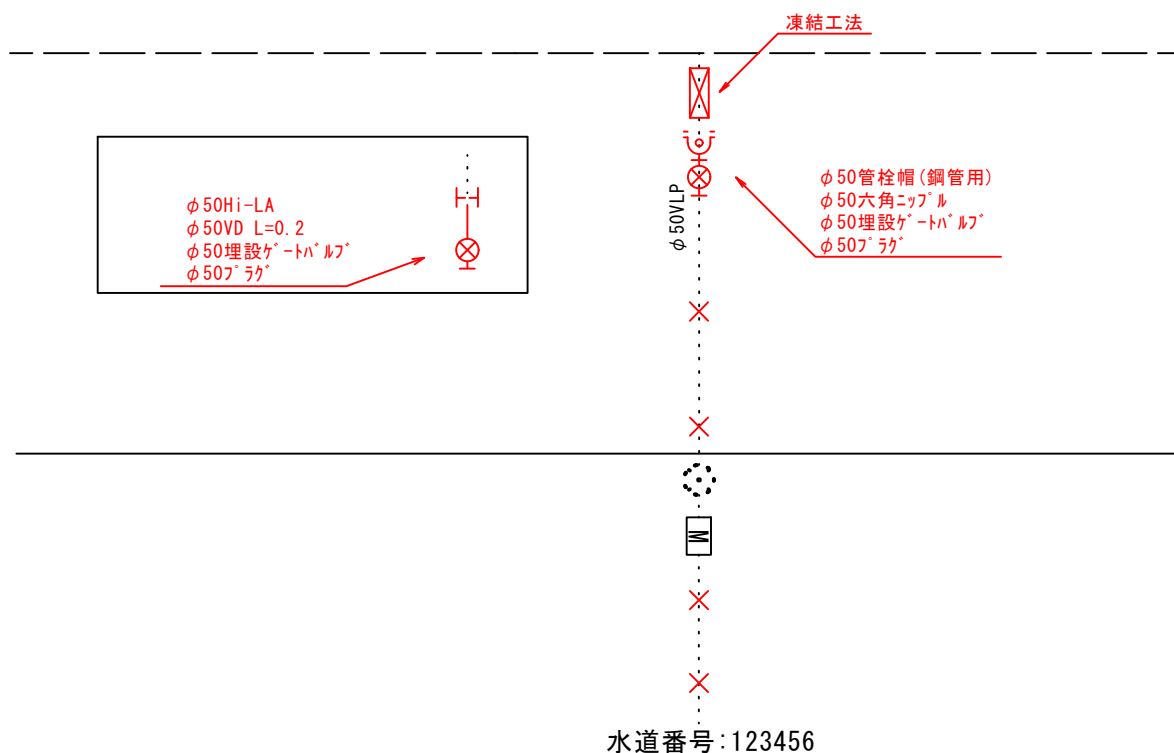
分岐元へハルブ*がある場合の閉栓



分岐元へハーフがない場合



凍結工法による閉栓



水道番号: 123456

使用材料(一次側)【配水管埋設深: m、PEPメーカー: 】

使用材料等(二次側)

[illegible]

給水装置工事明細書

(☐ 審査 ☐ 検査)

着工日	年	月	日	竣工日	年	月	日	水道番号	123456
-----	---	---	---	-----	---	---	---	------	--------

条件

道路10m以上布設する場合
管末部の取出し直し



工事内容
チス撤去→管栓帽

管栓帽から30cm以上の離隔をとること

30cm以上

※管末のオフセットをとること

VP50 DP=0.9m

φ50×20 サトル分水栓
φ20 PEP用メータソケット

PEP4.0

既設取出しチーズ撤去

PEP10.0

公道内10m以上布設するため
分岐後* -ル式止水栓を設置する
1号弁篋(給水栓)を設置

※ボールの位置は、安全に操作できる位置とすること
(道路の端へ)

φ20PEP L=14.0m (公道)
 φ20PEPエルブ
 φ20PEP用メータソケット×2
 φ20^ホール式止水栓
 1号弁篋(給水栓)

—T—T

チ-ス^{*} 撤去材料
 φ50 ネオSKソケット(圧着保護)
 φ50 Hi-LA
 φ50 VD L=0.3m
 φ50 鋼管キャップ^{*}

チ-ス* 撤去材料
φ50 材SKソケット(圧着保護)
φ50 管栓帽(VP用)

φ20PEP L=1.0m (宅内)
 φ20PEPエルボ×3
 φ20PEP用メータソケット
 φ20ボール式止水栓
 止水栓筐(小)
 φ20フレキⅡ型
 φ20メータユニット
 φ20フレキⅠ型
 φ20VPユニソク
 φ20×13 立水栓

水道番号:123456

使用材料(一次側)【配水管埋設深: m、PEPメーカー: 】

使用材料等(二次側)

名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位	名称・形状等	数量	単位
φ50×20 サトール分水栓	1	個				φ20メータユニット	1	個			
φ20 PEP用メータソケット	4	個				φ20フレキⅠ型	1	個			
φ20PEPエルボ	4	個				φ20VPユニオン	1	個			
φ20ホース式止水栓	2	個				φ20×13 立水栓	1	個			
止水栓籠(小)	1	個									
1号弁籠(給水栓)	1	個									
φ20フレキⅡ型	1	個									
			公道PEP φ20	14.0	m						
			民地PEP φ20	1.0	m						
配水管水圧	Mpa		残留塩素	mg/l (ppm)							